



Title	語文 第104輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2015, 104
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/70967">https://hdl.handle.net/11094/70967</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

今号には、五篇の論文を掲載しています。斎藤理生先生のご論考は、昨年度の国語国文学会における、着任記念のご講演の内容に基づくものです。織田作之助の『十五夜物語』について、新聞などのメディアや同時代の大衆小説との関わりを視野に入れながら精緻に読み解かれています。

今回の論文の中では、文学史の正統とはややはずれた位置にある作品を、考察のための重要な材料として活用したものが多かったように思います。テキストや資料と誠実に向き合いつつ、様々なかたちで「越境」を試みるのが、今後ますます重要になるように思われます。最近、議論喧しい人文学研究の意義や効用といった問題に対する答えも、そうした試みの中から出てくるのではないのでしょうか。

新刊紹介において取り上げた書籍は、金水敏先生のご近著三点をはじめ、十二点を数えました。その中で、滝川幸司先生の『菅原道真論』が、第四回池田亀鑑賞を受賞されましたことは、たいへんうれしく、また勇気づけられるニュースでした。心よりお慶び申し上げます。

本号より、投稿規程に「本誌掲載論文は、大阪大学学術情報庫OUKAで公開されるものとする」という一文が加わっています。学術雑誌の論文を、ウェブ上において閲覧可能とすることが、現在、一般的になりつつありますが、この規定は、そうした潮流に対応するためのものです。ご理解を賜りたく存じます。

(合山林太郎)

## 語文 第四百輯

平成二十七年六月二十五日 印刷  
平成二十七年六月三十日 発行

編集・  
発行者

大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五  
大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 出原隆俊

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一―一

印刷 亜細亜印刷株式会社